

マテリアリティ達成を測る主な指標・目標と主要な取り組み

マテリアリティ	当社にとっての主な機会とリスク	主なアウトプットKPI	目標 (目標年度)	実績		マテリアリティ達成に貢献する主要な取り組み	
				2023年度	2024年度		
脱炭素社会への貢献	+ 機会 	再生可能エネルギーなど 環境関連事業の領域拡大	契約高など (リース契約高、融資実行高、投資額など)	—	3,447億円	3,240億円	④自治体の脱炭素実現を支援する「北九州モデル」の推進 北九州市と脱炭素社会の実現に向けた先進的な地域モデルである「北九州モデル」の構築を推進。官民連携により、市内企業へのEV導入支援、公共施設への太陽光発電設置、パッテリーの循環利用などを推進し、当社の金融・サービス機能と地域の課題解決を融合させ、ほかの地域にも展開可能な、持続可能なまちづくりの先行事例とすることを目指す。
		電動車(EV、FCEV、PHEV、HV)比率	—	20.3%	22.4%		
	- リスク 	GHGを大量に排出するアセットの 座礁資産化	航空機事業(ACG)の省燃費機材の 資産残高比率	72.0% (2025年12月末)	61.9%	66.3%	
		再生可能エネルギー設備の 発電容量 NEW	—	888MW	1,079MW		
技術革新に対応した 新事業創出	+ 機会 	デジタル技術の活用による 顧客提供価値の向上	経済産業省が認定する「DX認定制度」の 認定維持	「DX認定制度」の 認定を維持	「DX認定制度」の認定を維持 2024年5月に「DX注目企業 2024」に選定	④次世代AIドラレコサービスを提供する GOドライブへ出資 タクシーアプリ「GO」を提供するGOが設立するGOドライブへ ゼンリンとともに出資。GOドライブでは、事故削減支援を行う 次世代AIドラレコサービス「DRIVE CHART」などの提供を行 い、「データビジネスの創出を通じたお客様の課題解決」に資 する革新的な付加価値サービスの共創を目指す。	
		既存のビジネスモデルの陳腐化に による顧客提供価値の低下	—	—	—		
	- リスク 	生活に欠かせない社会インフラ関連 資産の活用による顧客提供価値の 拡大	契約高など (リース契約高、融資実行高、投資額など)	—	6,412億円	5,684億円	
		レンタカー保有台数	—	35千台	35千台		
社会インフラ整備への 貢献	- リスク 	社会インフラの老朽化に伴う 座礁資産化	安全装置(自動ブレーキなど)を付帯した レンタカー車両の導入比率	—	97.4%	99.4%	④シンガポールで環境に配慮したホテルの共同開発を開始 シンガポールを地盤とした有力不動産開発・ヘルスケア企業で あるOUE Limited (SG) とシンガポールのチャンギ国際空港 ターミナル2に直結する「Hotel Indigo Changi Airport」の 共同開発を開始。太陽光発電パネルなど持続可能な機能を取り 入れることで、シンガポール初の環境への影響を低減したZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) ホテルを目指す。
		テレマティクスサービスの導入台数	—	88千台	89千台		
	+ 機会 	モノ価値に着目したサーキュラー・ エコノミー関連の事業機会拡大	契約高など (リース契約高、融資実行高、投資額など)	—	4,730億円	4,819億円	
		中古PCの年間販売台数	508千台以上 (2025年度)	351千台	425千台		
持続可能な 資源利用への対応	- リスク 	廃棄処理に伴うコスト増加 環境汚染による リピュテーションリスク	ITAD実施台数	1,700千台 (2025年度)	1,695千台	1,648千台	④関西電力と使用済みEV蓄電池の活用へ向けた 実証試験を開始 関西電力と使用済みEV電池を活用した蓄電池システムの実証 試験を開始。今後、多くの発生が予測されるEV電池を活用す べく、定置型蓄電池システムの運用、保守などのノウハウを蓄 積するとともに、システムの拡張・商用化に向けた課題の抽出 と解決策の検討を推進。
		ITAD実施台数	—	—	—	—	
	+ 機会 	多様な人材の確保 従業員エンゲージメント向上による 人材の活性化	新卒採用に占める女性比率	40%以上を維持 (2027年度)	53.2%	40.4%	
		管理職に占める女性比率	—	30%以上 (2030年度)	12.0%	13.7%	
人材力強化につながる 職場環境整備	- リスク 	優秀な人材の流出 魅力の乏しい職場環境による 人材確保の困難化 イノベーションの欠落	男性の育児休業取得率	100%維持	100%	100%	④オフィス環境の整備・充実 本社などのオフィスにおいて、人が行き交いコミュニケーションを 促すレイアウトを意識して、気軽に集まりディスカッションができる エリア、息抜きもできるオープンスペースやカフェエリアを設け ている。ファミレス風ブースやテレカンブースも各所に配置して、 役職員全員がいきいきと働ける職場環境の整備に努める。
		エンゲージメントスコア レーティング	—	向上 (2027年度)	53.2 BB	56.2 BBB	

※ マテリアリティに係るKPIの詳細などは、当社ホームページ「マテリアリティ」も併せてご参照ください。
<https://www.tokyocentury.co.jp/jp/sustainability/materiality/>